

平成24年度事務事業評価シート（23年度実施事業分）

事業番号	04 04 02	中期総合計画主要施策番号	3-02	担当課	部・課	健康福祉部医療推進課 医師確保対策室	
事業名	医師研究資金貸与事業			内線	2685		
				E-mail	doctor@pref.nagano.lg.jp		
実施期間	H19 ~	根拠法令等	長野県医師研究資金貸与規程				
実施方法	県が直接実施(県外から転任する産科医等に対して研究資金を貸与)					国庫・ 県単	県単独事業

事業の概要等	目的 (必要性)	分娩を取り扱う産科医等、医師不足が特に深刻な診療科の医師を確保する。				
	対象	県外から転任する産科医等				
	目指すべき姿	分娩を取り扱う産科医等、医師不足が特に深刻な診療科の医師に対する県内への誘導策を実施することにより、即戦力の医師の確保を図る。				
	事業内容	<p>県外から転任する産科医等に対して研究資金を貸与し、一定期間県内医療機関で従事した場合は返還を免除する。</p> <p>支給対象者：県外から転任してくる医師で、分娩を取扱う産科医 知事が特に必要と認める専門医</p> <p>研究資金： 3年以上勤務しようとする医師 300万円 2年以上勤務しようとする医師 200万円 を一括して貸与</p> <p>返還免除： 3年以上又は2年以上、県内の医療機関で業務した場合には貸与額の返還を免除</p>				

事業コスト	区 分		単位	22年度	23年度	24年度(当初)	23年度事業費の主な内訳 貸付金：6,000千円(産科医2名)
	最終予算額 (A)		千円	6,000	6,000	18,000	
	決 算 額 (B)		千円	6,000	6,000		
	B(H24はA)のうち一般財源		千円	6,000	6,000	9,000	
	概 算 人件費	従事する職員数	人	0.10	0.10	0.10	
	概算人件費 (C)		千円	832	826	826	
概算事業費 (B(H24はA) + C)		千円	6,832	6,826	18,826		

事業実績	成果指標・活動指標内容	単位	22年度	23年度	24年度(見込)	左記以外のH23年度実績 産科医 2名 (平成23年度は、特に医師不足が著しい産科医に限定し貸与を実施した。)
	医師研究資金貸与者(活)	人	2	2	7	
	貸与を受け県内に定着した医師数(成)	人	2	2	7	
	<効率指標(単位当たりコスト等)> 定着への支援	千円/人	3,416	3,413	2,690	
			(効率指標 算出式) 概算事業費/定着医師数			

事業の成果	事業の目標(H23)			事業成果・評価			評価区分
	県外から転任する分娩を取り扱う産科医等へ研究資金を貸与することにより、即戦力医師の確保に努める。			平成23年度は、県外から転任した産婦人科医2名に対し貸付金を貸与し、県内の医療機関で診療に従事していただいた。これまでに産科、小児科をはじめ延べ25人に貸与した。返還免除期間を経過した18名のうち13名が引き続き県内医療機関に従事しており、県外からの医師の確保に一定の成果を上げている。			b 期待どおり

事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明			
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判 定 の 説 明	産科をはじめとした特定の診療科や地域の偏在による医師不足は依然として深刻な状況であり、即戦力医師の確保のために必要である。
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		
	事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		

総合分析等	総合分析 (今後の課題、取組方針等)	特定の診療科や地域における偏在による医師不足は依然として深刻な状況であり、緊急に医師確保を図るため、引き続き実施する必要がある。				
	特記事項	事業仕分けでの意見を踏まえ、貸与対象となる診療科の見直しを行い、平成24年度は、外科・麻酔科を追加した。また、がん診療拠点病院の整備を進めるため、放射線科を追加するとともに、がん診療専門医の取得を対象とした。「平成23年度信州型事業仕分け実施」				